

U23 ヨセミテ、トウラミメドウズ (カルフォルニア)

ヨセミテおよびアップーヨセミテと呼ばれるトウラミについては、ほとんど説明の必要はないだろう。ビッグウォールからボルダリングまでヨセミテは今でも多くのクライマーを迎えているし、ユージのサラテを始めとしたビッグウォールでのフリークライミングなど、常に新しい話題を提供してくれる。

ヨセミテやトウラミのマルチピッチは数多くの文献等で紹介されているので、ここでは1ピッチのフリークライミングをメインに紹介したい。ここは数え切れないほどの、ナチュラルプロやスラブの伝統的なフリークライミングのエリアのみならず、むしろボルトを用いたスポーツ的なフリークライミングが確実に浸透している。ただし従来の伝統的なエリアには侵食せず、今まで見向きもされなかったエリアが、スポーツクライミングのエリアとして開拓されている。(クッキーグリフなど伝統的エリアでもボルトが打たれたりしているようだが、おおむね守られているようだ)

チャペルウォール、キラーピラーなど非常に質の高いフリークライミングが楽しめる。

トウラミについては、花崗岩とは思えないほど、ノブ(岩から突き出ている突起)が発達しているためヨセミテ以上にボルトルートが増えている。私がこの地に行ったのは91年のことであるから、今ではもっと変わっているかもしれない。

ただし所詮花崗岩のエリアであるがゆえ、傾斜は垂直か薄被りどまり、スポーツクライマーは多くを期待しないほうが懸命というものだ。

一方古くからさかんなボルダリングのほうも、相変わらず健在である。世界で一番有名なボルダリングの課題、ミッドサイトライティング7b+を始め、数多くのボルダーが賑がっている。

今でも時代の最先端を切り開いてきたヨセミテ。サラテ、ノーズ、エルニニオなどのビッグウォールでのフリーや、ボルダリングなどクライミングの新しい波は来ているのかもしれない。

岩質

花崗岩

ルート

基本的にはいわゆる花崗岩のクライミングだが、キラーピラーなどお皿のような薄いガバが壁に無数についているような部分に登るルートもあり、ルートを選べば結構楽しめる。

宿泊

クライマーならキャンプ4 でしょう。

ショッピング

観光地なので一通りのものは手に入る。トポはフリークライミング専門のものやボルダリングのみのものなど、好みのものが現地で見手に入る。

アプローチ

サンフランシスコから580号、州道120号経由で約4時間。地図を見ていけば迷うことはない。



ビルズベリードームのPoodle boy(5.11a)に登る内藤里佳